



ふくもっちゃんの部屋 ～新着CD～

福島市立図書館では、CD・カセットなどの音響資料を5点までお借りいただけます。
今回は、西口ライブラリーに新しく入ったCDをご紹介します。
ぜひ“聴く読書”を楽しんでみませんか？



- ①『天切り松闇がたり 闇の花道』(全3巻) 浅田 次郎 著 柳家 花緑 朗読/NHKサービスセンター
- ②『金魚撩乱』岡本 かの子 著 河野 茉莉 朗読/ことのは出版
- ③『ジョン・マン』(全8巻) 山本 一力 著 大森 ゆき 朗読/ことのは出版
- ④『上方演芸』横山 エンタツほか 口演/日本コロムビア
- ⑤『ザ・忠臣蔵』初代 真山 一郎・八世 竹本 綱太夫 語り 六代目 一龍齋貞丈 読み手 小野 花子 歌唱/キングレコード

本館・子どもライブラリー・学習センター図書室でもさまざまなタイトルを所蔵しています。
お気軽にお問い合わせください！

～朗読会「ことのはの時間」を開催します～

図書館職員による、大人のための朗読会です。

日時 令和6年3月9日(土) 午後2時30分～3時
場所 コラッセふくしま3階 302会議室
定員 15名(先着順)※事前申し込み・参加費は不要です

図書館カレンダー 3月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

図書館カレンダー 4月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

2024年3月1日発行

編集:福島市西口ライブラリー
〒960-8053
福島市三河南町1-20
Tel.024-525-4023
発行:福島市立図書館
〒960-8018
福島市松木町1-1
Tel.024-531-6551

《図書館ホームページ》



印は休館日 ※4月22日～28日は特別図書整理期間のため休館します。

福島市西口ライブラリー広報



西口ライブ発信

毎月24日はふくしま読書の日です。本に親しみましょう！

2024年
3・4月号

新着本案内



『王朝和歌、こんなに面白い』

中原 文夫 著

作品社(911.1-ナカハ)

天皇中心の政治が行われていた王朝時代。身分の高い人々は自分の気持ちを表現するのに、和歌を用いていました。恋や辞世など様々な和歌を取り上げ、それにまつわるエピソードと貴族たちの驚きの暮らしを解説します。



『女子鉄道員と日本近代』

若林 宣 著

青弓社(686-ワカバ)

女子鉄道員の導入は1900年とされているが、それ以前から鉄道で働く女性たちがいた。なぜ彼女たちは記録に残されることがなかったのか。当時の新聞資料を多く活用しながら、明治から現代に至るまでの女子鉄道員の変遷を辿ります。



『ユダヤ人は、いつユダヤ人になったのか』

長谷川 修一 著/NHK出版(227-ハセガ)

キリスト教徒による虐殺やナチスによるホロコーストなど、ユダヤ人はなぜ迫害の対象となったのでしょうか。また、迫害の中でも他国の文化に埋没せず独自の思想を保持し続けられた理由とは？ 歴史的・宗教的観点からその謎に迫ります。



『副業おじさん』

若月 滯子 著

朝日新聞出版(366-ワカツ)

昨今、経済的理由などから副業をする中高年男性が増えている。しかし、彼らを待つのは需要の少なさ、低賃金といった過酷な現実だった。様々な職種について取材し、自らも現場に潜入することで見えてきた「副業おじさん」の実態を綴る。



『科学目線』

元村 有希子 著

毎日新聞出版(404-モトム)

ウイルスは時に私達を困らせますが、同時に人類の繁栄に不可欠な存在でもありました。新型コロナウイルス感染症流行のほか最新の出来事を科学記者目線で語ります。

猫のマタタビ反応など面白いネタも満載で科学の世界を楽しめる1冊です。

新着本



西口ライブラリーに新しく入った本を一部紹介します。

最新スマホとネットのルール＆マナー事典 野田 ユウキ 著 秀和システム編集部 編著／秀和システム(007ーノダユ)	この銀盤を君と跳ぶ 綾崎 隼 著／KADOKAWA(Fーアヤサ)
おすすめ文庫王国 2024 本の雑誌編集部 編／本の雑誌社(019ーオススー24)	犬は知っている 大倉 崇裕 著／双葉社(Fーオオク)
運は遺伝する 橘 玲・安藤 寿康 著／NHK 出版(141ータチバ)	続きと始まり 柴崎 友香 著／集英社(Fーシバサ)
ヴィクトリア朝ロンドンの日常生活 マイケル・アルパート 著 白須 清美 訳／原書房(233ーアルパ)	ジェンダー・クライム 天童 荒太 著／文藝春秋(Fーテンド)
希望の分子生物学 黒田 裕樹 著／NHK 出版(464ークロダ)	香子 1 帚木 蓬生 著／PHP 研究所(Fーハハキー1)
ウルトラ図解手指の痛みとしびれ 亀山 真 監修／法研(493ーウルト)	京都東山邸の小鳥遊先生 望月 麻衣 著／ポプラ社(Fーモチズ)
日本と世界の犬種図鑑 武内 ゆかり 監修／ナツメ社(645ーニホン)	今夜は、鍋。 角田 光代ほか 著／新潮社(PFーコンヤ)
英語ネイティブが使うのはたった 9 助動詞！ デイビッド・セイン 著／秀和システム(835ーセイン)	ソルジャー＆スパイ 鷹樹 烏介 著／PHP 研究所(PFータカギ)
余白の迷路 赤川 次郎 著／KADOKAWA(Fーアカガ)	創竜伝 15 田中 芳樹 著／講談社(PFータナカー15)
火山に馳す 赤神 諒 著／KADOKAWA(Fーアカガ)	出久根達郎の古本屋小説集 出久根 達郎 著／筑摩書房(PFーデクネ)

作家と造語

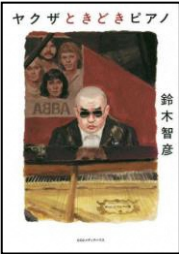
夏目漱石の著書『吾輩は猫である』に登場する苦沙弥先生が夫人に放った「オタンチン、パレオロガス」という言葉ですが、実際に漱石自身も妻である鏡子をこのように呼ぶことがありました。鏡子夫人は朝寝坊だったらしく、枕元に時計を持ってきて寝るも「チンと半時間打ったびに驚いて起き上がったたりする滑稽な演じなどして」寝不足からしばらくぼんやりしており、漱石は面白がって「おまえはオタンチンノパレオラガスだよ」とからかったそうです。鏡子夫人は言葉の意味を尋ねるも教えてはもらえませんでした。「オタンチン、パレオロガス」は江戸俗語でまぬけを意味するオタンチンに、東ローマ帝国最後の皇帝コンスタンチン・パレオロガスをかけた漱石の造語です。

参考文献：『漱石の思い出』夏目 鏡子 著 松岡 譲 筆録／角川書店（P 9 1 0. 2-ナツメ）

『吾輩は猫である』夏目 漱石 著／新潮社（P F-ナツメ）

『文豪の悪態』山口 謠司 著／朝日新聞出版（9 1 0. 2-ヤマグ）

ライブラリアンの
スタート
展示★名作案内
～踏み出す一歩～



YouTube で演奏動画を見ることが出来ます！

『ヤクザときどきピアノ』
鈴木 智彦 著
CCC メディアハウス(763ースズキ)
裏社会を取材するライターの著者は、映画をきっかけにABBA「ダンシング・クイーン」が弾きたい一心でピアノ教室の門を叩く。先生の指導のもと、ひたすらにピアノと向き合う日々は驚きと感動の連続で…。
52 歳・初挑戦の記録です。



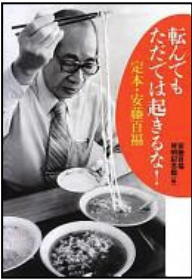
写真ではなく絵で説明しているので、苦手な方も安心！

『「ゴキブリ嫌い」だったけどゴキブリ研究はじめました』
柳澤 静磨 著
イースト・プレス(486ーヤナギ)
大のゴキブリ嫌いだったけれど、西表島で珍しいゴキブリに出会ったことでその魅力に気づき、研究を始めた著者。途中、ゴキブリアレルギーと発覚しながらも研究を続け、35年ぶりに日本産の新種を見つけるに至るまでの軌跡を綴ります。



気温によって性別が決まるカメがいる！？

『お天気ハンター、異常気象を追う』
森 さやか 著 文藝春秋(451ーモリサ)
近年の生死にかかわるレベルの猛暑や豪雨、豪雪はどのようなメカニズムで起こるのでしょうか。国内外の事例の他、気象にまつわる雑学を交えてわかりやすく解説します。
異常気象を通して地球の現状を知るきっかけにもなる 1 冊です。



3 分には色んな苦勞がつまっていた。

『転んでもただでは起きるな！』
安藤百福発明記念館 編
中央公論新社(289ーアンド)
お湯を入れて3分でできるカップラーメン。生み出したのは日清食品の創業者、安藤百福です。本書では、彼がどのようにして商品を開発し世に送り出したのか、その生涯を辿ります。また、人生観を表わす名言なども収録されています。



時には勢いも大事！

『今日から仲居になります』
中居 真麻 著
PHP 研究所(Fーナカイ)
魂が喜ぶ仕事をしたいと転職を決意した虹子は、旅館「かぐら屋」の仲居となります。
やる気が空回りして失敗し、先輩のいびりに落ち込み、来客達には振り回されてばかりの日々。試練を乗り越え、成長していく新人仲居の奮闘を描きます。